

風の谷・こだまの森のTen- ei
地域再生計画のご案内

ようこそ
風の谷・こだまの森へ

福島県 天栄村

The image displays two maps. On the left, a map of Japan highlights Fukushima Prefecture in red. On the right, a detailed topographic map of Fukushima Prefecture is shown, featuring green terrain, major roads, and various locations. The title '福島県' (Fukushima Prefecture) is written in large yellow characters at the top right of the detailed map. Key locations labeled include 天栄村 (Tamae Village) in red, 福島空港 (Fukushima Airport), 福島市 (Fukushima City), and 福島駅 (Fukushima Station). The map also shows surrounding areas like 茨城県 (Ibaraki Prefecture) and 栃木県 (Tochigi Prefecture).

天栄村の位置



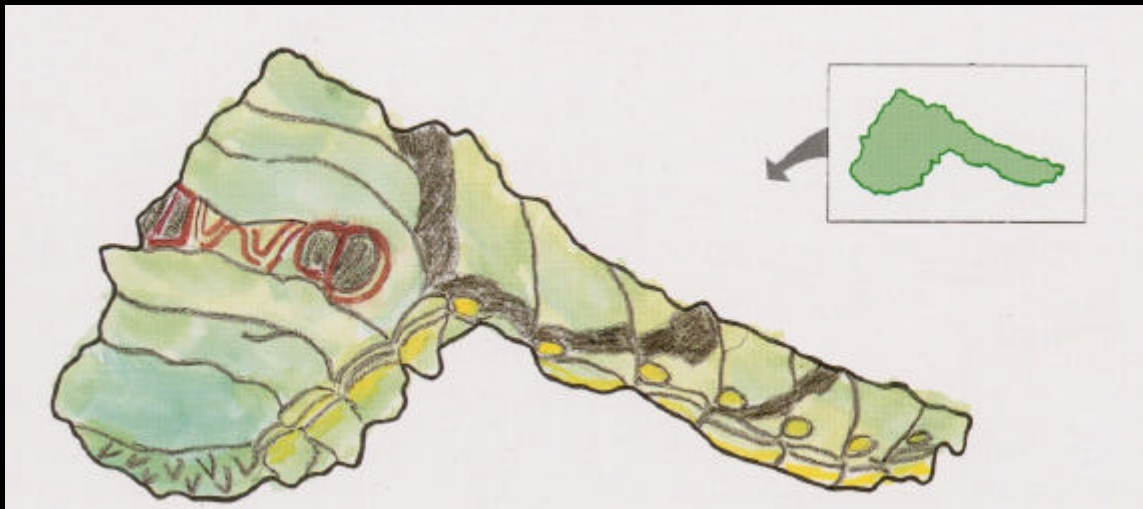
てんえいむら

天栄村のかたち



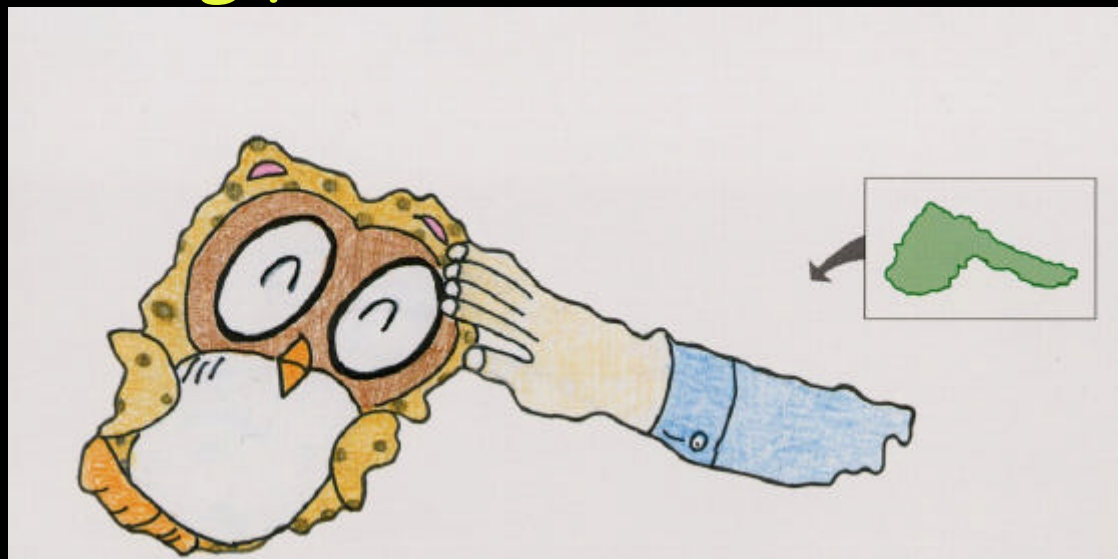
なーんに見える？

なーんに見える？



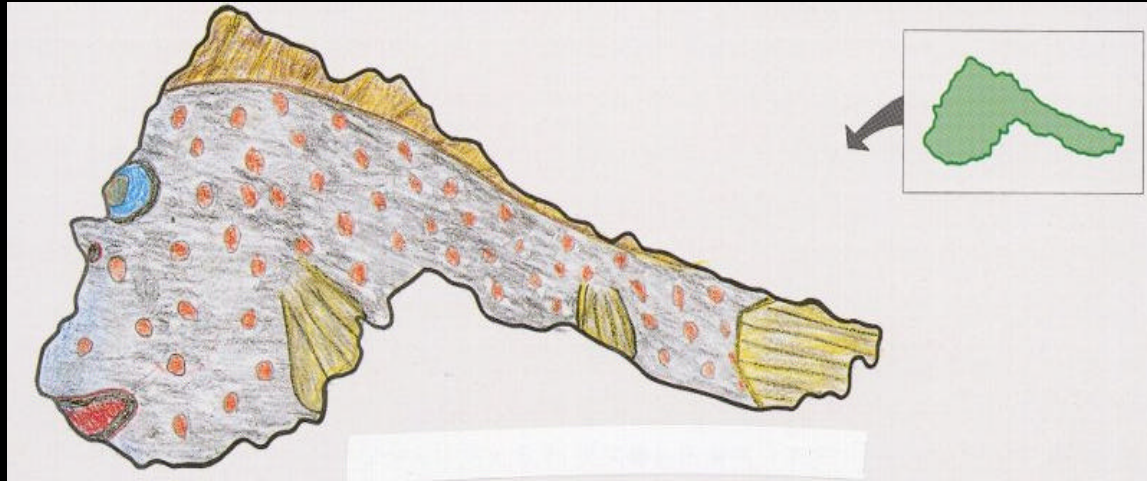
緑がいっぱいの村

なーんに見える
る？



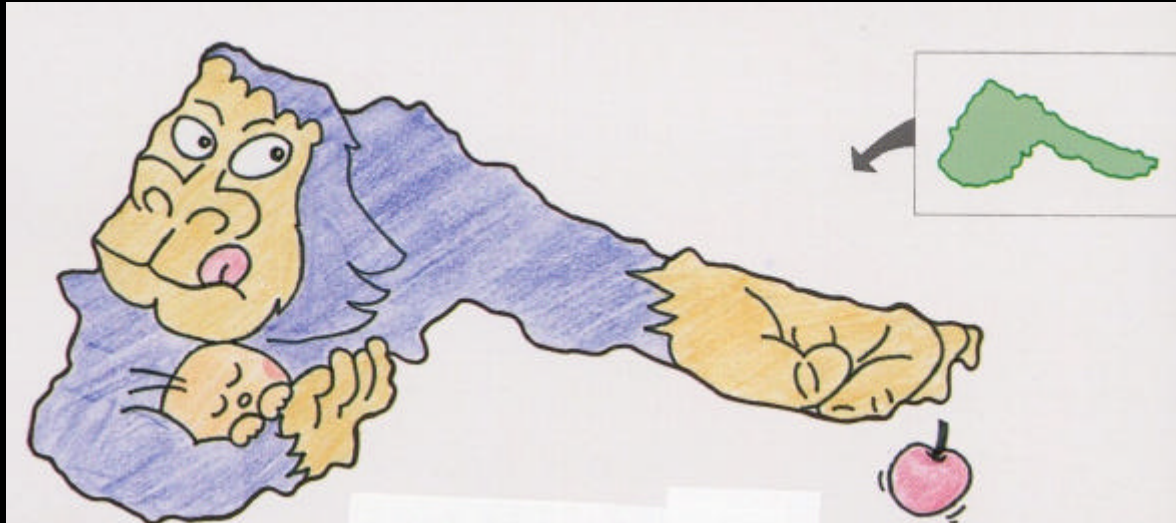
ブナの森には フクロウも

なーんに見える？



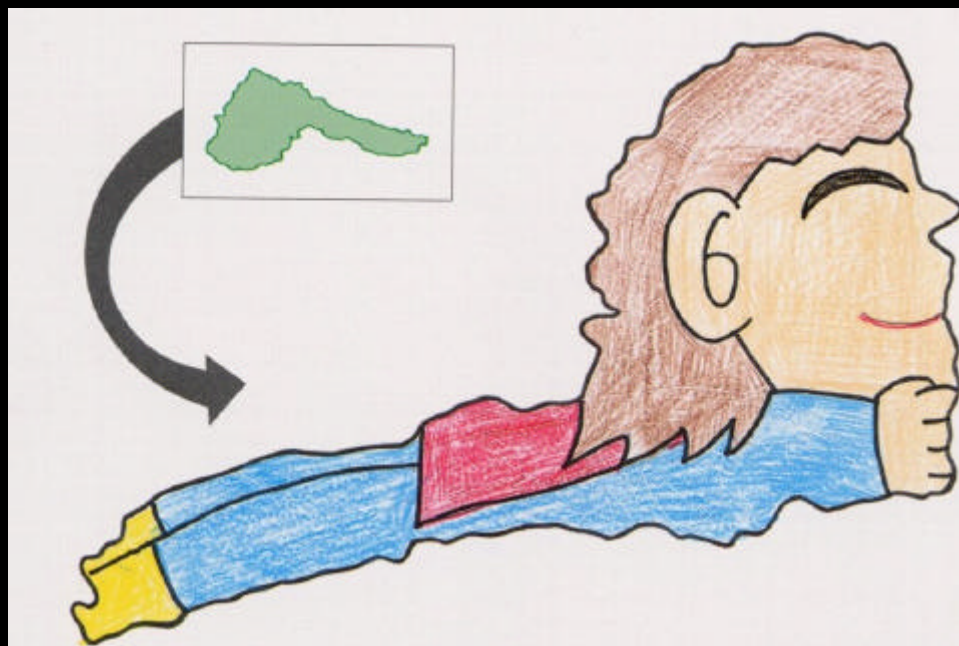
森からの水は、とてもおいしい

なーんに見える？



村人は、助けあってくらしてる

なーんに見える？



理想は高いぞ

むらづくりのイメージ

天のめぐみによって
栄える
村



天のめぐみ・・・地域資源

- ・ 風の谷」「こだまの森」からの授かり物

風

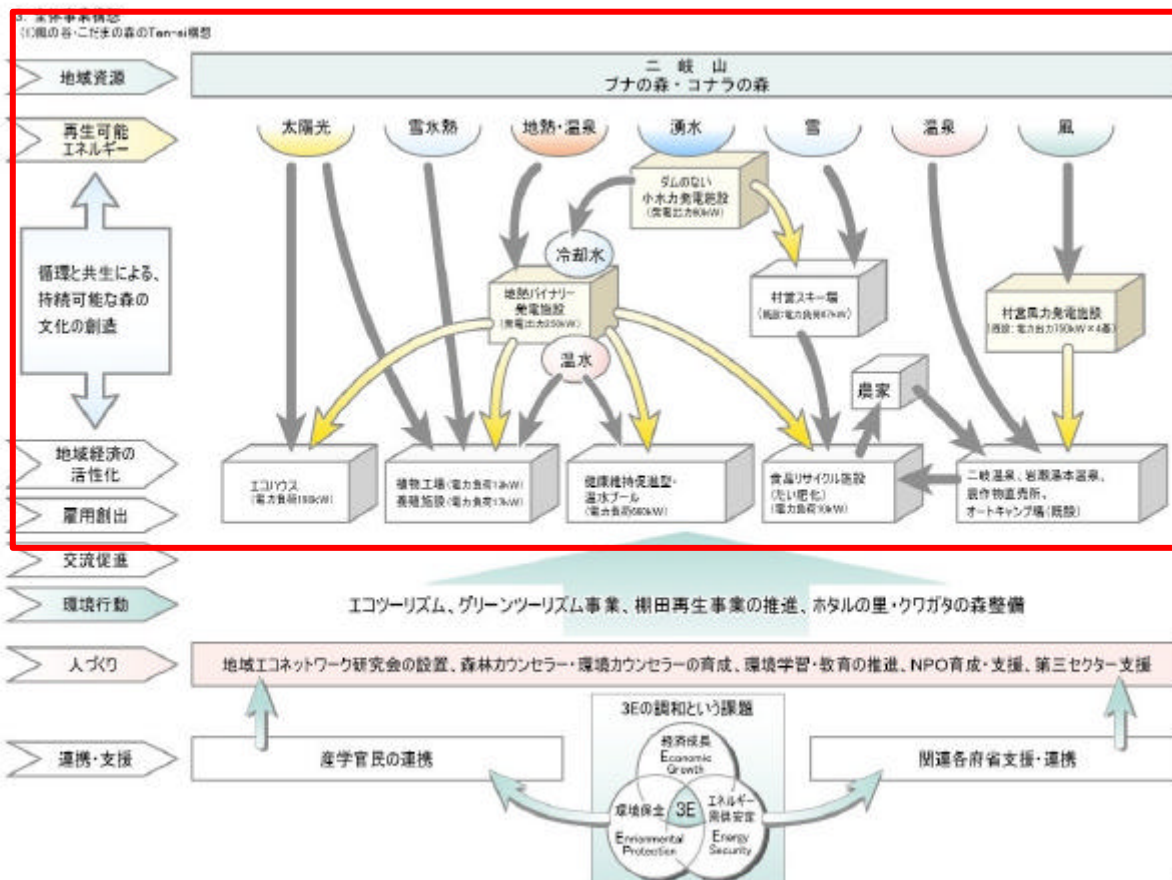
雪

水

温泉

山菜

癒し



(2) 導入施設イメージバース

風の谷・こだまの森のTen-ei構想

豊かな自然との共生による、うるおいとやすらぎのある
持続可能な生活圏(自然エネルギーの里)づくり構想

自然エネルギー の標本箱

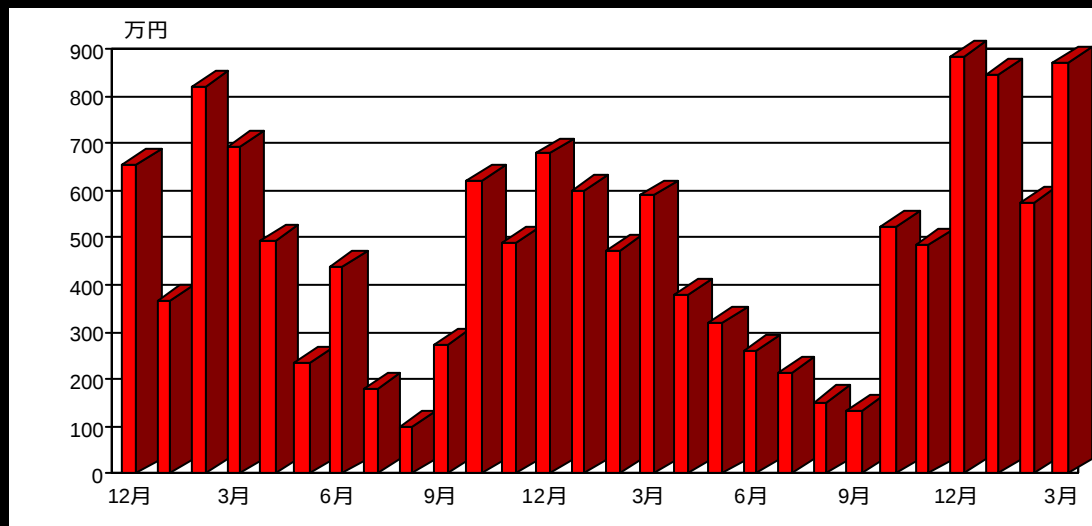


風



天栄風力発電所（村営）

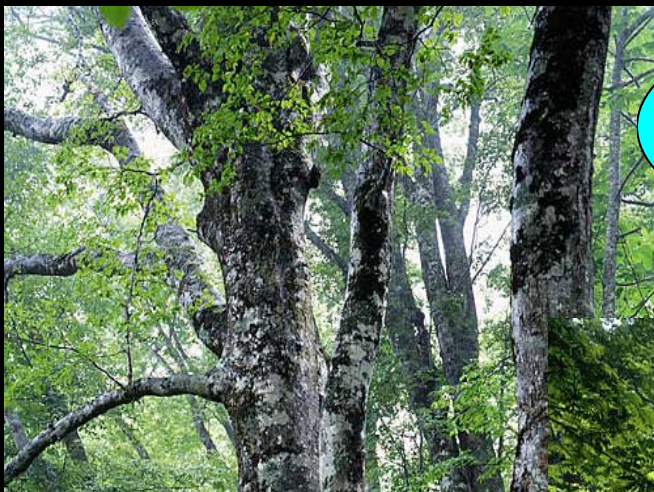
これまでの電気の売上高
1億8,500万円 (平成12年12月～平成16年4月の41ヶ月)



1ヶ月平均 451万円の収入

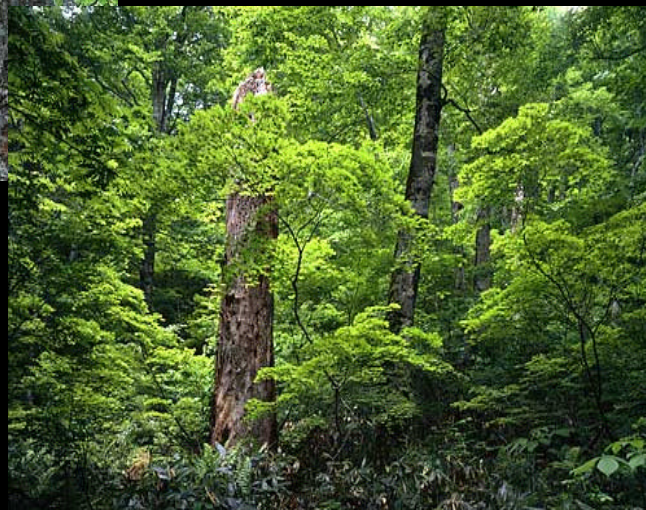
新エネルギー導入促進 基金を設置

毎年500万円の積立を
実施(平成14年～)



雪 湧水

ブナの原生林
森のダム



簡易水道の余剰水を利用した



ダムの無い小型水力発電所

温泉・地熱



二岐温泉

温泉 地熱



250kWバイナリー設備（水冷式）

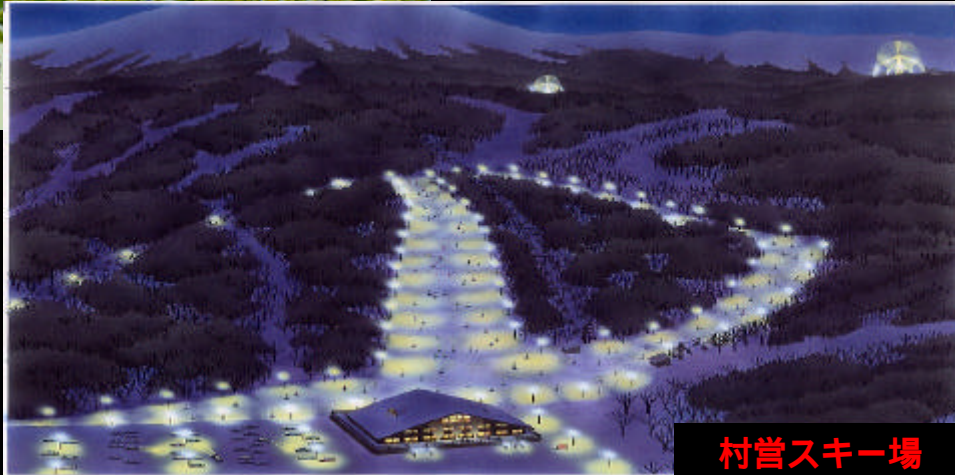
小規模バイナリー 発電所

出典：NEDO

エネルギーの地産地消

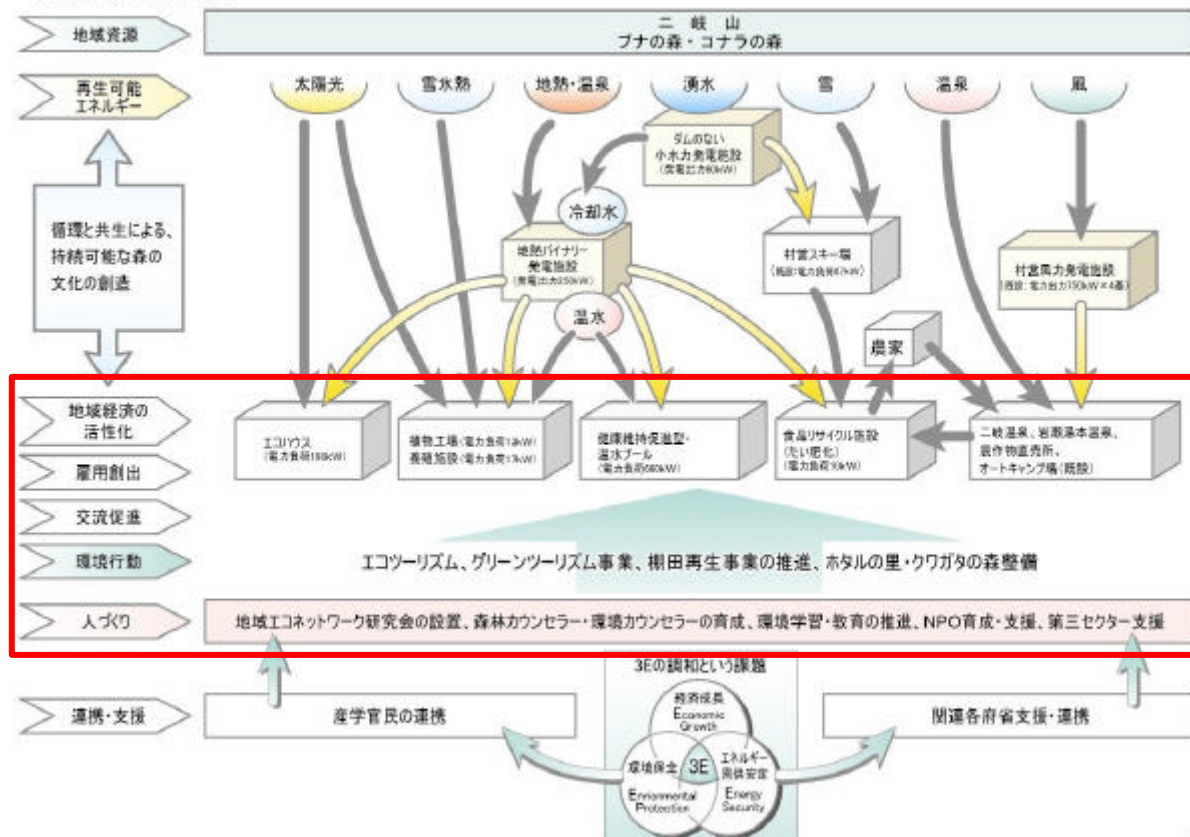


小水力発電所の電力
でハウス栽培



村営スキー場

3. 全体事業構想
(1) 熊の谷・こたまの森のTensei構想



風の谷・こだまの森のTen-ei構想

豊かな自然との共生による、うるおいとやすらぎのある
持続可能な生活圏(自然エネルギーの里)づくり構想

エコツアーリズム

グリーンツーリズム

都市部との交流



春山に

かの襞は斯く
ありしかな

草田男



ブナの森の雪解け

風みどり

母が蒔煮る

時かけて

古賀まり子



山鳩の

来ぬ日馬鈴薯

花ざかり

鍋木志久





黒く又

赤し桑の実

なつかしき

素十



響き爽やか
いただきますと
いふ言葉

草田男



歳時記の里

棚田再生・ホテルの里・クワガタムシの森



棚田再生事業
現況写真



人材育成

朝日新聞
2004.3.22

旧羽鳥小校舎を木工アトリエ

若者の夢芽吹く廃校

2年前に廃校になった旧天栄村立羽鳥小校舎が、4月から木工アトリエに生まれ変わる。木工作家を自認する郡山市の日本工芸研究所、若林寛友さん(24)が村内に移住し、校舎をそのまま工房として使う。「将来は木工教室を開き、村外から多くの若者を呼びたい」。校舎が再び地域の核になることを夢見ている。

若林さんは高校まで長野県松本市で過ごし、その後、日大工学部へ入学。建築学を学びながら郡山市内の家具工房で本を学んだ。日本木材青年団体連合会主催の本工

ンクールでアイデア賞を受けたこともある。

「郡市部で作業になるより山村で学びたい。山中で一本一本、樹木の造りを観察しながら作品に生かしたい」。昨秋、制作

活動で両会津地方に通った際、国道118号沿いにある旧羽鳥小に目をつけた。

同小は児童数の減少から1972年3月末、羽鳥小に統合されて創立130年の歴史を断った。平屋の校舎は今年で築55年。地元から「地域が活性化されるような施設にリニューアルしてほしい」と求められたが、予算不足の村に大規模な改修費用を出



雪解けとともに校舎内の片づけが始まった。今月中に若林さんも学校近くに引っ越してくる＝天栄村田尻尾で

郡山・若林さん「再び地域の核に」 天栄村に移住

村は今年1月、校舎の後利用案を公募した。応募は1件。若林さんの「めば木工プロジェクト」だけだった。「風力発電に収め組むグリーンな村のイメージを」。今まで出たアイデアの中でも一番の案とすんなり決まった。

資材室に電動工具を置いて、アトリエを「めば木工」に命ぜり、初めは本屋や本屋アタリで制作する。来年には図書館に作品を集めて木工ギャラリーにする。若林さんは「地域の人たちの思い入れが強い小学校。できるだけ地域に貢献したい」。3年後には3つの教室をクラフト工房にするのが目標だ。

地域の利活用促進委員会委員、星野勇さん(49)は「学校がなくなり、地区の運動会もなくなった。人のいなくなった校舎が傷んでいくのは寂しかったが、それどころか終わる」と話している。

3. 全体事業構想
(1) 風の谷・こたまりの森のTama構想



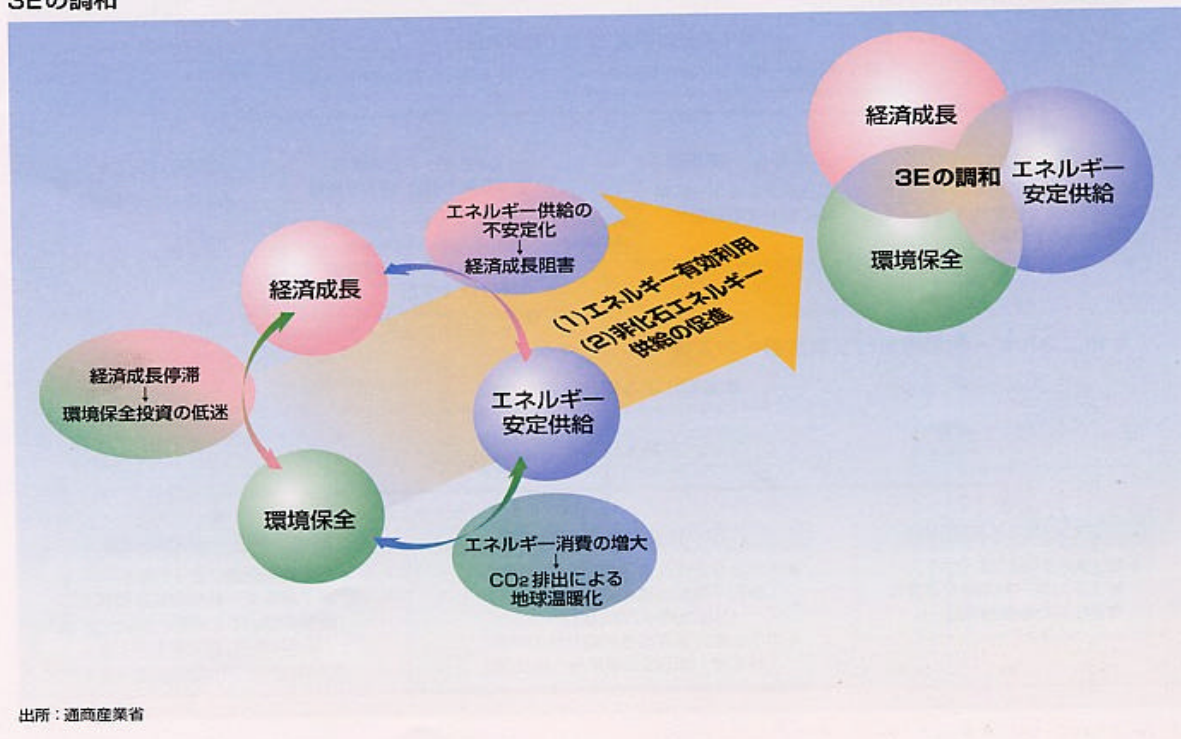
規制の特例・支援措置

- 地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置
- 「地域再生支援チーム」の設置
- 都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化



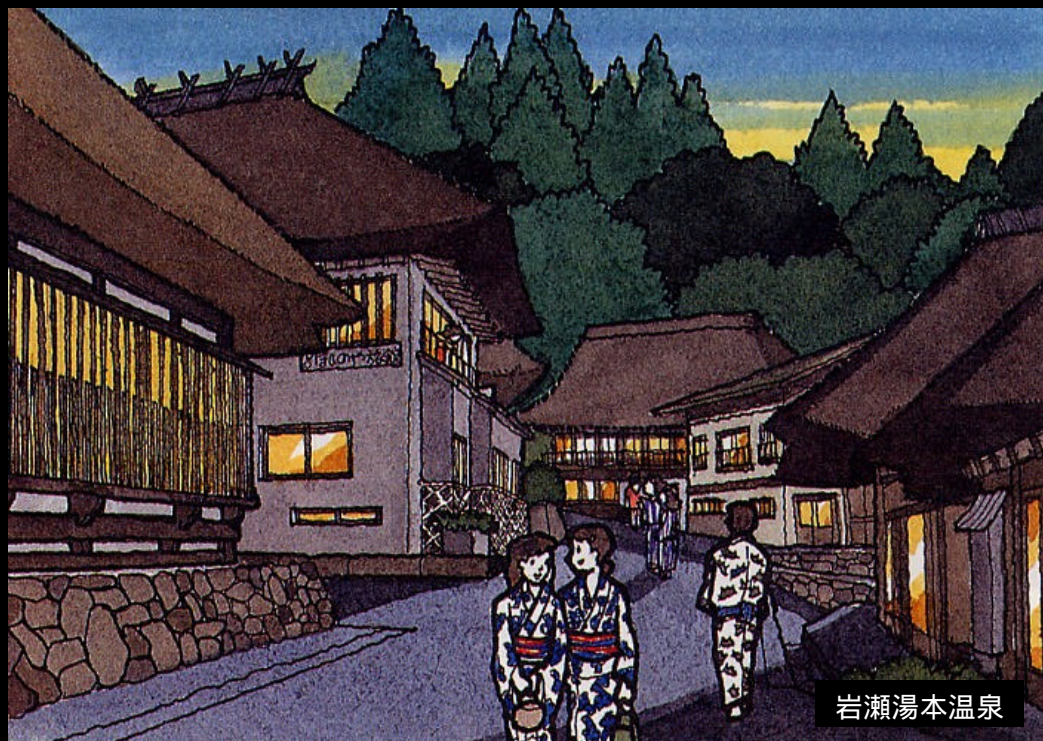
3Eの調和・実現への挑戦

3Eの調和





岩瀬湯本温泉



岩瀬湯本温泉

ご支援、よろしくお願いいたします。

天栄村